

平成29年4月~6月

かてい

平成29年6月30日発行

学園短信 一歩ずつ、着実に。

今号は、新年度を迎え新たな顔ぶれとなった学園の様子をご紹介します。

新理事長・小山より

■ごあいさつ

四月から理事長の重責を担うことになりました小山です。どうぞよろしくお願ひします。

私は、幼年保護会と同様の社会福祉法人恩賜財団母子愛育会という、東京麻布にある法人で、保健・医療、福祉の専門家の研修や研究の仕事をしています。幼年保護会と共通している点が多くあります。例えば、平成十四年から、厚生労働省家庭福祉課からの委託により実施した専門里親の養成研修もその一例です。専門里親は、虐待、非行、障がいのある子どもを養育しますが、この研修では全国の里親さんと養育の苦労、課題を分かち合うという貴重な体験をしました。もちろん制度の導入に先がけて里親制度の研究もしました。その一方で、東京都の養育家庭として、これまで短期、長期合わせて数人の子どもの養育に携わりました。養育はもっぱら妻が苦労しながら当たりでしたが、一人ひとりの里親には様々な思いがあります。

この二つの経験から要保護児童問題を「家族問題」として片付けるのではなく、「家族政策・家族教育」の視点から議論すべきではないかと考えています。核家族はガラスの城と言われて久しいですが、家族内危機が起こると修復力が落ちます。保健の領域では古くから母親学級（現在は両親学級）が行われていますが、妊娠・出産・育児に関する技術的な内容が中心で、家族の人間関係や相互扶助機能まで及んでいません。また、日本の行政サービスは申請主義

といわれるように、自己責任が前提です。家族政策・家族教育のあり方と方向について各職場で議論してはいかがでしょうか。

次に、皆さんにお願いです。第二は、「職員同士仲良くすること、二つ目は「相手の気持ちを理解すること。そして三つ目は、「相手から学ぶ」ことです。「仲良くすること」は単純そうですが、忙しい時やイライラしている時に「地」が出ます。それ故に「相手の気持ちを考える」ことがとても重要です。それは「相手から学ぶ」ことにも通じます。相手とは、同僚・入所者・子どもたちです。仕事の対象者は、社会的に傷付きやすい人々です。自分がいるから相手がいるのではなく、相手がいるから自分が存在するのだ、という姿勢で処遇に当たっていただきたいと思ひます。これは、私自身の課題でもあります。

社会福祉法人 幼年保護会 理事長

小山 修





園長挨拶

平成二十九年四月一日付けで、横浜家庭学園の園長となりました田辺有二と申します。これまで、神奈川県福祉職として児童福祉施設や児童相談所等に勤務しておりました。宜しくお願い致します。

横浜家庭学園に初めて来たのは、今から約三十年前の児童相談所児童福祉司時代になります。その時の講堂や本館棟の建物が素敵だと思った記憶が強くあります。今、懐かしいという思いとこれから子どもたちへの支援を行っていく緊張感を感じているところです。

横浜家庭学園に入所してくる子どもたちの家庭環境や状況は、三十年前とは大きく変わってきていると思われれます。子どもたちが安定して生活できるように支援してまいりたいと考えております。

少し自己紹介をさせていただきますと、体形はズんぐりむっくり、短足、横浜生まれ横浜育ち、血液型B型、二人きょうだいで姉がおります。好きな言葉は「温故知新」です。好きなスポーツは野球、好きな食べ物はてんぷら、嫌いな食べ物はありません。趣味は、陶芸、そば打ち、山登りです。最近陶芸がメインになっていますが、そば打ち、山登りも続けて行きたいと思っています。運動は好きですが、その前にダイエットをする必要がありそうです。

今、やりたいことは横浜家庭学園の子どもたちにそば打ちを教えてあげることです。簡単ですがご挨拶とさせていただきます。

横浜家庭学園 園長 田辺有二



新任職員紹介 今年三月に一名、四月に二名

の方が、指導員として家庭学園に仲間入りしました。このページでは、その三名の自己紹介文を掲載します。



勝 健 先生

児童自立支援専門員

身体に似合わず、顔に似合わず、私は美術的な活動をしてきました。発端は、当時は仕方なく行った高校でのことでした。そこで、何気なく入部した美術部からの始まりでした。当時美術の先生は「二科展」という、歴史ある美術展のメンバーで活躍されており、その美術部の高校生たちも「二科展」へ出品するという実力を放っていました。私も高校二年、三年と連続入選して、出身である福岡から、夜行列車に乗り東京へ行き、祝賀会に参加した覚えがあります。そのときの感動は今でも覚えています。そこから今に至っても、美術的なことに関わり、美術とはあまり関係のなさそうな現在の職に就いています。しかし、この職業に就いてとても役立つように感じてします。関係のないようなところから、意外に多くを吸収したり、役立つたりすることがあるので自己研磨を今後もしていきたいです。



作山 舜一 先生

児童自立支援専門員

今年の四月から働かせていただいています、作山舜一と申します。

昨年度までは日本体育大学の学生でした。野球をやりながら保健体育の教員を目指していましたが、昨年夏の野球・ソフトボール大会で家庭学園を知り、見学や実習を通して子ども達の一生懸命な姿とそんな子ども達と本気で向き合っている職員の皆さんに惹かれ、ここで働かせて頂くことになりました。

この一ヶ月大変なこと八割、嬉しいことが二割で、こんなはずではなかったと思うこともあります。子どもたちの些細な優しさや、先輩職員皆さんからのアドバイスを心の支えにして頑張っていこうと思います。また何よりやりがいを感じて仕事が出来ること感謝しています。

家庭学園での生活では私の今までの経験から、スポーツを通して感動や悔しさ、頑張ったら成果につながる体験などを共に感じていただけるいいなと思っています。よろしくお願いします。



古内 さや子先生

心理職員

みなさま初めまして。この四月に横浜家庭学園に着任致しました、臨床心理士の古内さや子と申します。昨年度までは児童相談所や療育施設に勤めていました。心理士として働き始めて四年目になります。まだ経験が浅く至らぬところばかりですが、よろしくお願い致します。

家庭学園の子どもたちはとてもパワフルです。スポーツや掃除など、日々の日課に積極的に取り組んでいます。そのパワーに圧倒されることもあります。全身で受け止められるように尽力していきたいと思えます。

着任して一ヶ月が経ちましたが、まだ不慣れなことが多く先生方にはご迷惑をお掛けして落ち込んでばかりの毎日です。そんな時は、たっぷり寝たり、趣味の手芸やライブ観戦でリフレッシュしたりしています。私たち職員が疲れていては子どもたちの支援はできないので、子どもたちのためにもまずは自分の健康に気を付けようと思います。子どもたちが楽しく安心して過ごせる学園を作っていけるように頑張りますので、これからよろしくお願い致します。

○ 母の日プロジェクト

五月十二日、少し早いですが、子どもたちから母の日のサプライズプレゼントをしました。『いつもありがとう』という言葉にたくさんのメッセージを書いたものを隠して、女性職員に探してもらいました。子どもたちは準備からとてもワクワクした様子でした。



○ 運動会で一番の盛り上がりを見せたタイヤ引き

今年の運動会で一番の盛り上がりを見せたのはタイヤ引きでした。それぞれの家族舎チーム、職員チームで三つのタイヤを取り合いました。最後の一つになった時、チームの全員がタイヤに集まり引きずり合いながら正々堂々と戦いました。



○ お花見自己紹介

今年のお花見では、サイコロを使って自己紹介をみんなの前で一人ずつ行いました。サイコロの目は、一発芸、特技・好きな言葉・最近起きた面白い出来事・自己紹介を大声で・実は内緒にしていたこと・モノマネでした。一発芸、特技では意外な特技がある人もいてみんなが感心していました。とても有意義な時間を過ごすことができました。

平成二十九年度 年間行事予定

- 四月 始業式・花見・潮干狩り
- 五月 春季運動会・中間テスト
- 六月 卓球大会・春季遠足
- 七月 期末テスト・七夕・終業式・海水浴
水泳一〇〇本祭り(二五m)・夏休み
- 八月 高認試験・ソフトボール大会・野球観戦
一〇〇本祭り(五〇m)・水泳大会(県)関東
- 九月 始業式・秋季遠足
- 十月 中間テスト・バレーボール大会
- 十一月 秋季運動会・関東文化祭・駅伝大会
- 十二月 期末テスト・終業式・冬休み
クリスマス礼拝・餅つき・のど自慢大会
- 一月 元旦礼拝・書き初め・送別マラソン大会
- 二月 あすなろ交歓会・感謝祭
- 三月 学年末テスト・修学旅行(小六)中三・修了式
春休み

各種行事

○始業式・花見

今年度初の行事は花見でした！グラウンドで班に分かれてバーベキューをしました。講師の先生方も来てくださり、全員で順番に自己紹介を行いました。最後にはドッチボールをするなど、終始笑い声が絶えず楽しい一日となりました。

○潮干狩り

今年も金沢八景・海の公園で潮干狩りを行いました。今年は天気が悪く気温も低かったのですが、みんな震えながらもアサリをとるのに夢中になっていました。家族舎の先生方は、少しでもおやつ代を浮かせようと必死の様子でした(笑)

午後は浜辺でビーチフラッグやバレーボールをして、最後はみんなで毎年恒例のハンカチ落とし！帰りのバスではみんな疲れて爆睡でした(笑)

○春季運動会

今年には二家族舎制ということで、職員チームをプラスした三チームでの対抗戦。当日のために、自由時間を削つ

てまで個人競技や家族舎対抗競技を練習する姿が見られました。

運動会当日は家族舎対抗リレーやタイヤ取り物語など、白熱した戦いが見られました。

結果は一家庭が見事優勝！運動会を通して家族舎の絆が深まりました。

○県卓球大会

六月四日、県卓球大会に参加しました！久しぶりの大会に、子ども達は緊張した表情。

試合では、練習の成果を発揮していたものの力及ばず、子どもたちは惜しくも表彰台は逃してしまいました。しかし、試合に臨む姿勢はみんな素晴らしく、礼儀正しさが伝わってきました。見ていてとても気持ちのいい卓球大会となりました。



↑ 集合写真：花見にて



→ あまりにも後ろ姿がピシッと決まっていたので、思わず撮ってしまった一枚。

編集後記

平成二十九年年度広報委員会は、新たなメンバーを加え、五名で活動してまいります。
今号では、四月より新しく着任した職員の見介の記事を中心に扱いました。新たな顔ぶれを迎えた家庭学園の様子を感じていただければ幸いです。

次号以降は、行事の様子やスポーツ大会の結果を含め、子どもたちの生活の様子をお伝えできればと考えております。日々、良いことも悪いこともある中で、さまざまな経験をし、成長していく子どもたちの姿を感じていただけるような紙面作りを目指しておりますので、次号もどうぞご期待下さい！

最後に、広報委員会のメンバーはもちろん、忙しい中記事を寄せてくださった職員の方々に、この場をかりて感謝の意を表したいと思えます。ありがとうございました。

「かてい 十七号」編集委員会
扇澤・北口・宅島・野村・松浦

★平成二十九年四月に横浜市青葉区に新・児童養護施設「横浜中里学園」を開設してから、三ヶ月が経とうとしています。
昨年度より準備室を立ち上げ、これまでの経験を活かした運営を行っていきたいと考えておりますので、両施設ともに今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成29年度在籍状況（平成29年6月1日現在）

	横浜市	神奈川県	川崎市	横須賀市	相模原市	他県	合計
29年度定員	8	8	2	1	2	0	21
29年6月1日現在	4	4	0	0	1	0	9

社会福祉法人 幼年保護会 横浜家庭学園

神奈川県横浜市保土ヶ谷区釜台町18番1号

電話：045-331-5884 FAX：045-331-5013

ホームページ（ブログ更新中!!）：<https://www.yokohamakateigakuen.org/>